

第 19 回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト エントリー規程

以下の条件を満たす場合に限りエントリーを許可します。

1. 参加チームは2名以上、5名以下で構成され、全員学生であること。
2. 1つの学校から複数のチームがエントリーするのは妨げないが、メンバーの重複は認めない。また、複数チームが類似の機体で参加していると判断される場合はエントリーを取り消すこともある。
3. 各チームの代表者は一般社団法人日本航空宇宙学会の学生会員あるいはジュニア会員であること。ただし、コンテスト当日までに会員登録されていれば良い。
4. 機体開発中の安全管理のために、各チームは顧問の教員(所属学校の先生)1名を置きその指示に従うこと。なお、顧問は一般社団法人日本航空宇宙学会正会員であることがのぞましい。顧問はコンテスト当日、来場する必要はない。教員1名が複数のチームの顧問になることは可能である。
5. エントリー完了時に、代表者ならびに顧問の教員にメールが送信されるので確認すること。なお、顧問のメールアドレスは必ず大学から支給されたメールアドレスとすること。登録するメールアドレスは添付ファイルを受信できるメールアドレスとすること。
6. 操縦者は遠隔操作を十分に習熟し、日本ラジコン電波安全協会のラジコン操縦士に登録していること。コンテスト当日までの登録は必須であるが、練習飛行時に登録を完了していることが望ましい。なお、チーム代表者が操縦者である必要はなく、メンバー全員が登録する必要はないが、飛行練習も含め操縦を行う可能性のある者は必ず登録すること。
7. 各チームは機体レギュレーション、飛行競技ルールを遵守して機体開発を行うこと。
8. 各チームは以下の提出物がそれぞれの期限までに承認されていること。
 - 1) エントリー後すみやかに Facebook ページ等でチームのホームページを作成しチーム紹介のメッセージを投稿して公開し、その URL を提出すること。
 - 2) 所定の機体審査用紙を指定された方法で提出して、指示する日時までに大会委員の承認を受けていること。
 - 3) 機体レギュレーションに定められた1分以上の飛行動画を YouTube に掲載してその URL を指定された方法で提出して、指示する日時までに大会委員の承認を受けていること。
 - ・ 飛行動画は発進から着陸まで撮影すること。
 - ・ 飛行動画は室内での撮影であること。
 - ・ 自動着陸に挑戦するチームはその様子を動画に収録すること。
9. 機体審査並びに動画審査にて承認を受けたチームがコンテスト運営可能数を超えた際には、主催者が出場チームの調整を行うことがある。また、機体審査並びに動画審査にて承認を受けたチームがコンテスト運営可能数未満になった際には、締切りを延長することがある。ただし締切り延長で承認になったチームは大会に参加できるが順位の対象外とする。
10. 大会委員からの連絡のため、特定のツールを使用する場合がある。その指示に従うこと。

以上。